

## 「今日の治療薬 2013」のエンドキサン月間パルス療法の記載間違い

2013年3月25日

東邦大学 川合眞一

南江堂の「今日の治療薬」は、多くの医療関係者に利用していただき、また多くの医療機関の外来や病棟などに置かれている単行本で、私はその編集者の一人として以前より本書の発刊に関わってきました。本書の2013年版についても本年1月に発売され、既に10万冊以上が医療現場で利用されています。実は、本書のリウマチ性疾患治療薬に関する記載に以下のような大きな間違いがあることが判明いたしました。編集者として心よりお詫び申し上げますとともに、リウマチ学会員に対して直接注意喚起をお願い申し上げます。

その間違いは、リウマチ性疾患に対するエンドキサン®（シクロホスファミド）の使用に関する記載です。本書の「免疫抑制薬」の便覧でシクロホスファミドを調べますと p.234 にシクロホスファミドの項があり、用量については「抗悪性腫瘍薬」の p.177 を参照するようになっています。そこで p.177 に進みますと、治療抵抗性のリウマチ性疾患に対する注射の用量⑧には「1日1回 500~1000mg/m<sup>2</sup> 静注を4週間」と記載してあります。この記載通りですと大量シクロホスファミドを連続4週間投与されることになり、大事故につながりかねません。もちろんこの記載は、本来「1日1回 500~1000mg/m<sup>2</sup> 静注. 投与間隔は4週間」とすべきであることは言うまでもありません。

本書の「免疫抑制薬」の解説 (p.230) にはシクロホスファミドの注射療法は月1回パルス投与であると述べてはおりますが、使用経験の少ない医師が、便覧だけを参考にして事故をもたらすことも否定できません。本書の出版社である南江堂も正誤表の配布とともに、同社のホームページにおいてお詫びと訂正の情報発信を行っているところですが、私も日本リウマチ学会員の一人として学会員に直接お詫びとお知らせをすべきと考えました。リウマチ学会員の皆様には、特に経験の少ないお知り合いの先生方に、本書の記載の間違いと、改めましてシクロホスファミドの適正使用に関して周知徹底していただければ本当に有難く存じます。何卒宜しくお願い申し上げます。

『今日の治療薬 2013』 p.177

シクロホスファミド水和物

### ●エンドキサン

適応 ⑧ 治療抵抗性の次のリウマチ性疾患:SLE,全身性血管炎(顕微鏡的多発血管炎, ヴェゲナ肉芽腫症,結節性多発動脈炎,Churg-Strauss 症候群,大動脈炎症候群等),多発性筋炎・皮膚筋炎, 強皮症,混合性結合組織病,及び血管炎を伴う難治性リウマチ性疾患

用量: **誤記** 1日1回 500~1000mg/m<sup>2</sup> 静注を4週間

⇒ **正** 1日1回 500~1000mg/m<sup>2</sup> 静注. 投与間隔は4週間